

～荷主企業・物流事業者の皆様へ～

# 「フェリーいしかり」船内見学会へのご招待

—海運へのモーダルシフト推進を目指して—

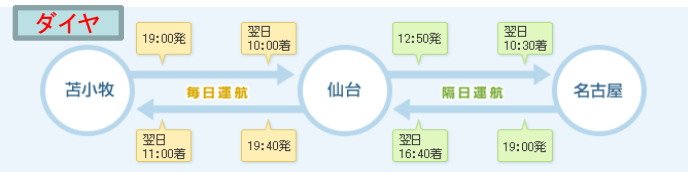
物流部門におけるCO<sub>2</sub>排出量削減策として、モーダルシフトは非常に有効な取り組みです。なかでも海運へのモーダルシフトはCO<sub>2</sub>排出原単位が営業用トラックの約5分の1に抑えることが可能とされ、地球温暖化対策として非常に有効であるといわれています。

海上モーダルシフトの主な担い手である長距離フェリーを実際に見学していただき、フェリー活用の基本的な情報提供やモーダルシフトの有効性についての講演を通じ、モーダルシフトについての理解を深めていただければと思いますので、皆様の多数のご参加をお待ち申し上げます。



◇日時 平成28年3月10日(木)  
13:30～15:15 (集合13:00)

◇会場 名古屋港フェリーターミナル  
(名古屋市港区空見町40)  
太平洋フェリー「いしかり」 船内



参加費無料  
定員50名



- ・ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。
- ・お申込受付期間内であっても、定員に達し次第受付を締め切らせていただきます。
- ・複数の応募があった場合には人数を調整させていただくことがありますのでご了承ください。

## プログラム

### 第一部・船内見学

「フェリー いしかり」車両デッキ、旅客デッキ等の見学

### 第二部・講演

「モーダルシフトを支援する国の施策」

経済産業省中部経済産業局

資源エネルギー環境部エネルギー対策課

国土交通省中部運輸局

交通政策部 環境・物流課 課長 山本 博康

「フェリー航路を活用するモーダルシフトの取組」

太平洋フェリー株式会社

物流営業部 係長 土田 謙二



【主催】 国土交通省中部運輸局

【協力】 太平洋フェリー 株式会社

※裏面に申込書があります

お申込方法・  
お問合せ先

・参加お申込みは、平成28年2月26日(金)までに本票を

FAXで送信をお願いします。

FAX:(052)952-8084

中部運輸局 海事振興部 旅客課 担当:田垣・西原

電話:(052)952-8013

参加申込票

貴社(団体)名	
お名前(お役職)	ほか 計 名
ご連絡先	ご住所
	お電話番号
	E-mail

1. 海運利用について、どのようなイメージをお持ちですか？該当の番号に○をおつけください。  
(複数選択可)

- ①環境負荷低減につながる。 ②コスト低減がはかれる。 ③定時運航が期待できる。  
④コストが高い。 ⑤時間がかかる。 ⑥定時運航の確保(到着時間が不安定)に不安がある。  
⑦その他( )

2. 中部・近畿周辺から以下の地域へのフェリー航路が設定されています。ご興味のある航路の番号に、○をおつけください。(複数選択可)

- 【東北・北海道方面】 ①仙台・苫小牧 ②小樽・新潟・秋田  
【四国方面】 ①新居浜・東予(愛媛) ②徳島  
【九州方面】 ①新門司(北九州) ②大分・別府 ③志布志(鹿児島) ④宮崎

3. 海運へのモーダルシフトについて、該当の番号に○をおつけください。

- ①実施済みである。(航路 )  
②検討したいので、具体的な説明が聞きたい。  
③具体的な検討は未定だが、フェリー利用について説明を聞きたい。  
④特に興味がない。

4. フェリーを利用した海陸一貫輸送サービス(※)について、該当の番号に○をおつけください。

- ①既に利用している、したことがある。(航路 )  
②検討したいので、具体的な説明が聞きたい。  
③具体的な検討は未定だが、海陸一貫輸送サービスの利用について説明を聞きたい。  
④特に興味がない。

※. 海陸一貫輸送サービスとは… <http://www.taiheiyo-ferry.co.jp/kamotsu/system/index.html>  
(参考:太平洋フェリー(株)ホームページ)

【個人情報のお取扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、本セミナーの運営管理の目的に利用させていただきます。またモーダルシフトの普及・促進のために、事務局及び各物流事業者よりご連絡を差し上げる場合がございます。予めご了承ください。